

8月10日(月)

放蕩息子

聖書朗読 ルカ15：11～20

そこで、イエスの愛されたあの弟子がペテロに言った。「主です。」するとシモン・ペテロは、主であると聞いて、裸だったので、上着をまとい、湖に飛び込んだ。
ヨハネ21：7

2020年8月10日～8月16日

翻訳 ハンコック・真由美

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

イエス様は復活された後、ティベリア湖畔に立たれ、弟子たちを待って、様子をご覧になっておられました。弟子たちは、漁をしていました。ペテロはイエス様だとわかった途端に、岸辺に向かって泳ぎだしました。ペテロの神様への裏切りと、今日の聖書箇所「放蕩息子の話」とは違う話ですが、結末は同じです。(マタイ10：33) 罪の問題でした。イエス様はペテロが戻ってくるのを待っていました。ここで、謙遜に砕かれた心が兼ね備わりました。ただ父なる神様だけが癒し修復することができます。イエス様は、「私に従いなさい」とおっしゃいました。(ヨハネ21：19) 愛の確かさが伝わるシンプルな言葉です。ペテロは質素な食事と見慣れたいつもの生活と「あなたは私を愛するか？」という質問に戻りました。放蕩息子への基盤となる質問です。

私たちは同じような経験をしています。父なる神様から離れるのは罪ゆえです。しかし自覚を持ちますと、悔い改め自分がやらかした神から離れた状態を繕おうとします。愛深いお父様が御許に帰ることを待っていらっしゃるのだと、迷っている人々に話すために私たちのそういう経験を用いてくださることがあります。ともすると、救いはあまりにもシンプルに見え、罪はあまりにも大きく見えます。しかし、父なる神様は 息子や娘一人ひとりが家に帰るのを立って待っていてくださっています。腕を広げてお祝いの準備をすぐ始めてくださいます。

讃美歌 II 167

祈り お父様。私たちを赦し、罪の重荷から解放してくださり、私たちがお役に立てて完全に愛されていると確かな思いに満たされていることに感謝いたします。

イエス様のお名前を通してお祈りいたします。アーメン。

キャロル・ローズ
コロラド州 プエブロ

8月11日 (火)

物を所有するか、神様に属するか

聖書朗読 ルカ18:18~30

だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。 マタイ6:33

人生で本当に必要なものはなんでしょう？今持っている以上のものが必要でしょうか？物があふりすぎて物を収納するものも必要になっています。余分な物を収納するための貸倉庫を利用することもあります。なぜでしょうか。

一番必要なことなのは、持ち物でしょうか。それが無くなってしまってもそれほど問題はないはずです。私たちはいつも十分に持っています。イエス様は神の国に関する事を一番にすれば私たちの必要は満たされるとおっしゃいました。私たちはそれを読みました。それを聞きました。そして、信じました。しかし、他の事に目をやってしまいます。なぜなのでしょう。

この世での卒業（天国へ行くという意味です）の時が近づくにつれ、必要なものはだんだん少なくなってくると気がつきませんか。年が増すにつれて、それまでのようには、色々な物が必要でなくなります。「少ないほど良い」というものになってきます。若い人たちはこれを早いうちに学べないのでしょうか。どうしても必要だと思っただ品物は、ごくわずかです。いや、それ以上に、私たちは必要なたった一つのは、神様に属するという事なのです。

讃美歌 II 177

祈り 父なる神様、私たちもその一部になっている素晴らしい神様の創造のみわざを感謝して味わせてください。神様が造られた宇宙の美しさ、空の鳥やあなたの似姿として私たちを日々見せて頂き、ありがとうございます。

スティーブン・クラーク・ゴード
カルフォルニア州 ブリス

8月12日 (水)

完全なる理解

聖書朗読 ルカ19:1~10

わたしはわたしのものを知っています。また、わたしのものは、わたしを知っています。 ヨハネ10:14

「ママには私の気持ちなんてわからない」と小さな女の子は泣いています。多分その通りでしょう。私たちは子供と同じようには考えません。今 子供が生きている世界と大人の世界は違います。しかし、理解されたいという気持ちは、大人も子供も持っています。イエス様はどんな時でも完璧に私たちがどういう気持ちなのかを理解してくださいと知っていますので、心安らかに生きることができます。イエス様は、私たちの心と 私たちがどう日々の決定事項をやりくりしているのかをご存知なのです。

私たちの主がこの地上におられた時、たくさんの問題を抱える一般の人々に会いました。いつもそれぞれの心の中を知り、ジレンマの核心に触れてくださいました。主は、人々を愛し正直にシンプルに解決されました。万策尽きて途方にくれ、誰も理解してくれないと思う時、私たちの天のお父様は御霊を通して穏やかに私たちの心の奥までご覧になり、私たちがどういう方向に行こうとしているのか、苦難の中で私たちの苦しみの深さが如何ばかりかを明確にご存知です。結局のところは、知恵を求め神様の導きを求めるのは私たちの判断にかかっているのです。これは、この地上で一番偉大な祝福の一つです。

讃美歌 II 191

祈り 天にまします親愛なるお父様、自分の意思に反していても神様の御心に従う時に、安らぎと勇気を与えてください。私たちの必要を見定める知恵をください。あなた様の力と愛と私たちを導こうとしてくださっている心をありがとうございます。

イエス様のお名前によって。アーメン。

カレン・ゴワー
テネシー州 キングトン

8月13日(木)

全ての根底にある者

聖書朗読 ルカ21:13~31

ある人たちは、金を追い求めたために、信仰から迷い出て、非常な苦痛をもって自分を刺し通しました。
Iテモテ 6:10

どうぞ欲しいものを買いなさい！しかし、死んでしまったら あなたは それを持っていけない！それとは、もちろんお金のことです。コインは銀色や緑がかかった色をしていて人々の心をいともたやすく盗んでしまいます。あなたの大切な人の心をも！金銭を追い求めるのを抑えないと、経済的な豊かさ、またはそれを得るように努力することで、すっかり人の人生を食い尽くされることとなります。それはよくありません。私はそうなってしまった人を知っています。あなたもそういう人を知っていますか。

ある辞書によりますと、「食欲さ」とは「過度に必要以上に物を欲しがること」と書いてあります。これはもちろん金銭もその中に含まれるでしょうが、他にもあります。人間関係や時間などもそうです。しかしながら、ルカ12章のメッセージでは、金銭や財産の話が出てきます。著者もそれが人の心を引き寄せるものだと知っています。それがあなたの愛する人たちからあなたを引き離し、最も重要な主との関係から引き離す可能性を述べています。

お金がある事は悪いことではありません。それどころか、お金は非常に役に立つものです。人間である私たちは自分を最も幸せにしてくれるものを欲しがります。そして、「宝物」もその中に含まれます。私たちは主こそが根底にある宝物であり、主を自分の中心に据えない限り真の意味で幸せになれないと学ぶ必要があります。

讃美歌 神の国とその義を

祈り 最も親愛なる主よ。人間である私は、最も偉大な宝物であるあなた様を簡単に見失ってしまいますから、あなた様の教えをいつも私の心の核に置くことができるように助けてくださるよう切に求めます。

イエス様のお名前でお祈りいたします。アーメン。

ケイティ・メリデス

テキサス州 フォートワース

8月14日(金)

神様の御ことばであるキリスト

聖書朗読 ヨハネ1:1~14

初めに、ことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。
ヨハネ1:1

イエス・キリストは、神の「ことば」と呼ばれました。なぜなら、私たちが言葉で他の人たちへの考えや気持ちを表現するように、神様はイエス様を通して神の考えや気持ちを明らかにしてくださったからです。この真実は素晴らしく一生かけて学んでいきたいものです。

しかし、今日ではこのような大きな真実についてあまり話される事も考えられることも少なくなっています。キリストはことばです。それは、全ての自然や神様の創造物の中にはっきりと示されています。

キリスト様もご自分の性格や神様への愛や「御子は神の栄光の輝き」であられることを明らかにされています。イエス様は、神様のお考えや御心を教えてくださっています。神様が望まれるのは、私たちが御許に行くことです。十字架上での償いで、私たちへの神の愛と計画をはっきり示してくださいました。これに勝る愛のことばは未だかつてなかったし、神の御心を人にはっきりと表現されたこともなかったのです。キリストは慰め主、そして神様の真実を明らかにするために送られた真実の御霊であられることによって今もお神のことばでおられます。なんと素晴らしい愛でしょう！

讃美歌 II195

祈り 親愛なる神様。私たちの信仰を強め、お互いに愛し合うことができますように助けてください。

イエス様のお名前によって御前にお捧げいたします。アーメン。

ビリー・テイナー

テネシー州 ヘンダーソンビル

8月15日(土)

主の満ち溢れる中に立つ

聖書朗読 ヨハネ1:16~18

私たちはみな、この方の満ち満ちた豊かさの中から、恵みの上にさらに恵みを受けたのである。
ヨハネ1:16

今日のタイトルは力強いです。これは私が考えた言葉ではありません。甥の子供のローガンがザンビアに宣教旅行に行った時に使いました。彼は言葉の壁がある中で主が祝福し、様々な方法で福音を伝えることができたと書いています。

その宣教旅行中、間違いなく主の満ち溢れる中にいたローガンは言いました。この話を聞いて 私も主の満ち溢れる中にいることがどんなに祝福されているかを考え始めました。主が満ち溢れることで数え切れないほどの祝福がもたらされます。

その日ごとに主が私にくださったたくさんの祝福に 毎日心を留めるようになりました。神様を単に知っているというより神様をよりよく知ることができる時、私は主の満ち溢れる中に立っています。主の満ち異なる言葉を話しても彼らと会う時、ローガンは神様の愛のタネを蒔くことができたことに感じるほど十分にコミュニケーションが取れたと思ったそうです。溢れる中に立つことで、休息 睡眠 食べ物、衣服、住まい、家族、友だち、自由を手に入れることができます。

讃美歌 II 194

祈り 主よ。日ごとにあなた様からいただいている全ての祝福を覚え 感謝することができますように。私が主の満ち溢れるただ中に立っていることが理解できますように助けてください。

イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

ユージニア・カイザー

8月16日(日)

望遠鏡の向こう側

聖書朗読 ヨハネ3:10~15

あなたがたは、わたしが地上のことを話したとき、信じないくらいなら、天上のことを話したとて、どうして信じるでしょう。
ヨハネ3:12

子供の頃、夜、外に行って月や星を見るのが大好きでした。小学校には夜空の写真の本がありましたが、興味がありませんでした。自分の目で本物を見たかったのです。そういう私にその頃、両親は素晴らしいものをプレゼントしてくれました。それは持ち運び可能で 何でも100倍に見える望遠鏡でした。夜空を見つめ、月のクレターや星の色を見ました。その望遠鏡は私に 新しい世界を開き、私の空の見方を180度変えてしまいました。

聖書朗読の箇所ではイエス様はイスラエルで最も見識のあるラビであるニコデモと話しています。イエス様のおっしゃるもう一度生まれるという意味が理解できずにいると、イエス様はニコデモに限定して見ている以上のものを見るようにおっしゃいました。私たちもそうですが、ニコデモは小さな望遠鏡で見ていたのです。イエス様はハッブル宇宙望遠鏡より優れた視力で見ておられました！私たちの目で見える一時的な小さなこの世のことではなく、イエス様は本物を見て本物のこと即ち天国のことを話されました。私たちの信仰を、目に見えるものから 真実で永遠のもの、つまり、天国に向けることができますように。

讃美歌 313

祈り 親愛なる神様。私には本物や天国を見る視力がありません。命に導くものを見る目を開いてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ロバート・P・ミューレン
テキサス州 フォートワース